

## 地区指定及び生活関連施設・経路（案）

### 1 促進地区及び重点整備地区の設定

バリアフリー法の趣旨を踏まえ、促進地区と重点整備地区を次頁のとおり設定しました。

地区設定にあたっては、バリアフリー法で該当すべき要件として定められている配置要件、課題要件、効果要件から総合的に判断しました。

表 促進地区及び重点整備地区の要件

	促進地区	重点整備地区
配置要件	生活関連施設の所在地を含み、かつ、生活関連施設相互間の移動が徒歩で行われる地区であること。	同左
課題要件	生活関連施設及び生活関連経路を構成する一般交通用施設について移動等円滑化を <u>促進することが特に必要であると認められる地区</u> であること。	生活関連施設及び生活関連経路を構成する一般交通用施設について移動等円滑化のための <u>事業が実施されることが特に必要であると認められる地区</u> であること。
効果要件	当該地区において移動等円滑化を <u>促進することが、総合的な都市機能の増進を図る上で有効かつ適切であると認められる地区</u> であること。	当該地区において移動等円滑化のための <u>事業を重点的かつ一体的に実施することが、総合的な都市機能の増進を図る上で有効かつ適切であると認められる地区</u> であること。

（出典：高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（第二条 二十三号、二十四号））

## (1) 促進地区の設定

国が定める促進地区の要件を踏まえ、バリアフリー化を促進する地区として下図に示す範囲を設定しました。促進地区は、重点整備地区内の施設の他に、指定緊急避難所に指定されている「岡山県立和気閑谷高等学校」や観光客の来訪が想定される「旧大國家住宅」、地区住民が利用する JR 和気駅南側の商業施設「イオンタウン和気」を包括する範囲としました。

## (2) 重点整備地区の設定

重点整備地区は、促進地区の中でもバリアフリー化を重点的かつ一体的に進めていくべき地区として、JR 和気駅から近く、多くの地域住民が利用すると考えられる「和気町中央公民館」と、鉄道利用者の多くが利用すると考えられる「和気駅前駐車場」を包括する範囲としました。

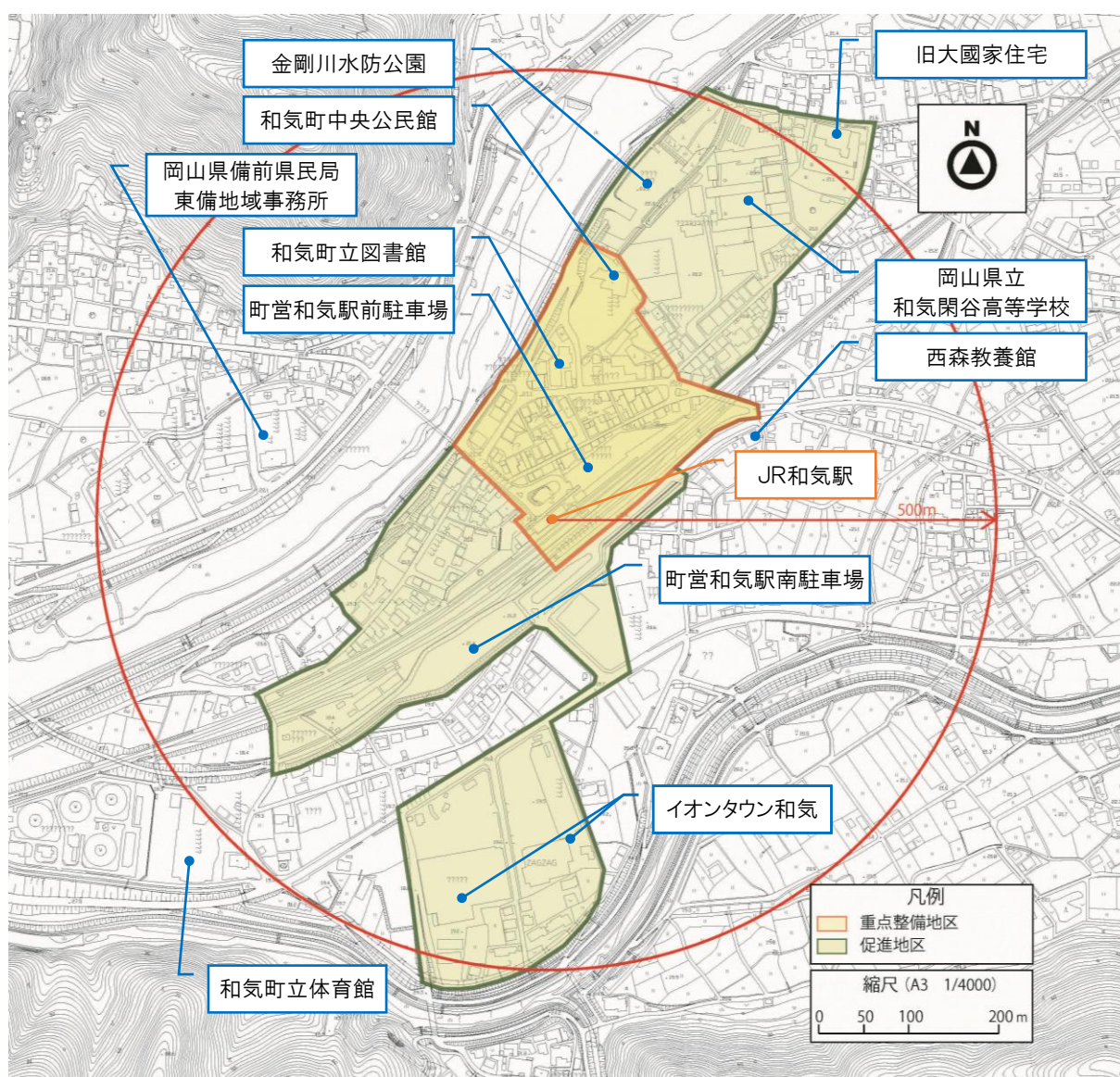


図 促進地区・重点整備地区の設定

## 2 生活関連施設・生活関連経路（案）の設定

現地踏査やまち歩き点検ワークショップの実施を見据え、生活関連施設・経路（案）について、事務局で以下のとおり検討しました。

なお、以下の内容は現時点での事務局案であり、今後の検討により変更となる場合があります。

### （１）生活関連施設（案）

J R 和気駅の徒歩圏（500m 圏域）に位置し、高齢者や障害者などが徒歩で利用すると考えられる施設を抽出し、生活関連施設（案）として設定しました。

表 生活関連施設一覧（案）

生活関連施設		概要
旅客施設	J R 和気駅	町民の移動を支える施設
商業施設	イオンタウン和気	高齢者や障害者等が多く利用する施設
公園施設	金剛川水防公園	
文化施設	和気町立図書館 和気町中央公民館	
	旧大國家住宅※	観光客等が多く利用する施設
教育施設	岡山県立 和気閑谷高等学校	指定緊急避難場所に指定されている施設
その他施設	和気駅前駐車場 和気駅南駐車場	旅客施設（J R 和気駅）の利用者が多く利用する施設

※旧大國家住宅はJ R 和気駅の 500m 圏域外に位置するが、国指定の重要文化財というポテンシャルを踏まえ、主に観光客による徒歩での来訪が見込まれると想定し、生活関連施設として設定する。



## (2) 生活関連経路（案）

J R和気駅周辺地区の生活関連経路（案）は、前頁で示した生活関連施設相互間を結ぶ、特にバリアフリー化を促進していく必要のある経路を設定しました。

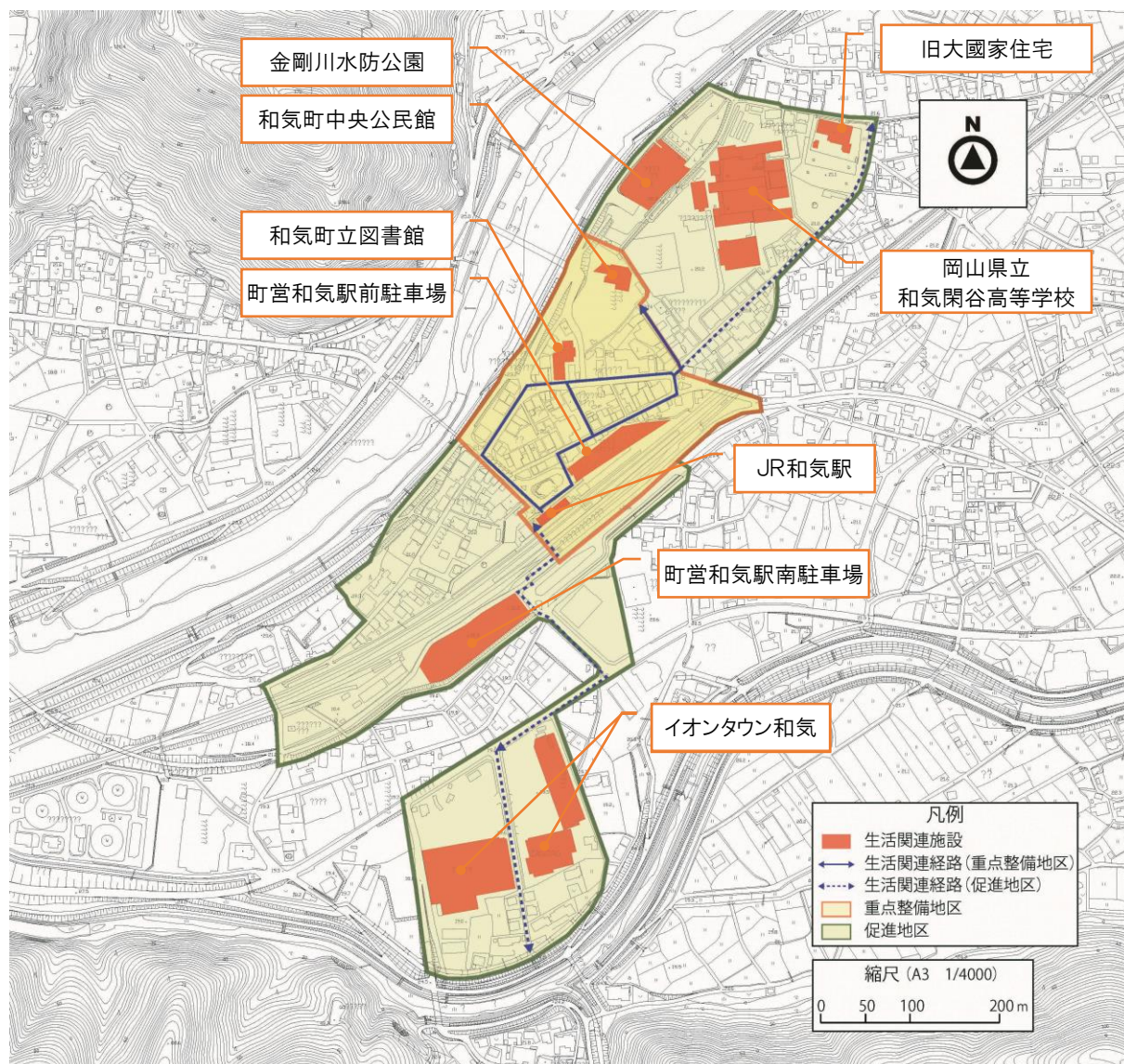


図 生活関連施設・生活関連経路（案）